

第411回番組審議会

1. 開催日時 平成18年6月20日(火) 午後1時30分～
2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室
3. 委員の出席 委員総数 14名
出席委員 12名

出席委員の氏名	委員長	藤元 隆一
	副委員長	橋田 純一
	委員	山本 玲子
	委員	和田 利彦
	委員	高橋 三男
	委員	帷子 利明
	委員	西郷 喜代子
	委員	佐藤 晴久
	委員	早瀬 藤二
	委員	増川 博之
	委員	嶋村 正
	委員	上野 克幸

欠席委員の氏名	委員	梅村 俊男
	委員	千葉 則茂

会社側出席者	新沼 栄喜	(専務取締役)	営業・編成担当
	石井 修平	(専務取締役)	事業・メディア戦略・ 広報・番組審議会担当
	阿部 孝夫	(常務取締役)	報道・制作担当
	高橋 甫和	(取締役技術局長)	技術担当
	千葉 正範	(営業局長)	
	山信田 寧	(報道局次長)	
	柴柳 二郎	(報道局アナウンス部長)	

事務局	青山 尚之	(編成局長)	番組審議会事務局長
	高橋なおみ	(編成局編成部主任)	

4. 議 題

1.. ニュースプラス1いわて

6月6日(月)午後6時16分～6時54分放送

5. 資 料

資料として以下のものを配布

- ・視聴者からのご意見
- ・BPO報告

6. 議事の概要

社側説明

番組審議会のテーマは、いつもは特集をご覧頂いておりましたが、今回は、一日の構成をご覧頂きました。

委員側意見

- ・番組全体として、取材力があつたし明るい話題が多く良かったのではないかと。
- ・番組の構成(順番)については、再考いただいてもいいのではないかと。
- ・内容については、同じ時間で取り上げるのではなく、濃淡をつけた方がよいのではないかと。
- ・他局と同じ時間帯で、テーマの違いをどう出していくのか?
- ・「サドル事件」については、正確に伝えていたというご意見もありましたが、事件内容は悪質なので、事件の容疑名などはっきり伝えるべきだったのではないかと。
- ・「ゾウのマオ」は、企画に工夫があつたが、マオの生い立ちなどの説明があれば良かったのではないかと。
- ・「野鳥の巣箱」は、大学の先生の研究と関わりがあるのか気になった。
- ・「オープンガーデン」は、作成されているご主人の職業が気になった。また、電話番号を公開しても良かったのか?
- ・「6歳の稽古はじめ」は、6月6日との関係など説明があればよかった。
- ・「ボクシングの八重樫選手」一時音量が下がったのが気になった。
- ・「地上デジタル放送」の試験電波発射中という『発射』という言葉が気になった。
- ・「天気予報」では、警報・注意報と週間予報を表示するときに、市町村の並び順を整合性をとったほうが良いのではないかと。

7. 審議内容

別紙のとおり

8. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

特記事項はないが、キー局及び関係局、関連部署に議事録を配布するなど、関係者に審議の内容を伝えた。

9. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合における

その公表の内容、方法及び年月日

- ・ 自社制作番組「あなたと歩むテレビ岩手」
(平成18年6月27日(火)午前11時50分～11時57分放送) で、審議の概要を放送。
- ・ 支社・支局に議事録を設置
- ・ 当社のインターネットのホームページで議事録を公開。

〈議事の内容〉

事務局 定刻になりましたので審議会を始めます。きょうの議題は6月6日放送分の「ニュースプラス1いわて」です。それでは委員長、宜しくお願いします。

委員長 それでは、ご意見ををお願いします。

委員 県内の出来事を丹念に拾い上げてお茶の間に伝えることが使命の番組と考えている。天気予報を除いて11件の話題を取り上げていました。取材力には敬服しています。全国ニュースの暗い話題と対照的に、大変明るい話題が多くて、見ていて安堵感があった。男性キャスターの声も大変落ち着いていて、聞きやすい。疑問点は、「ゾウのマオ」の話題のときに、取材した方の名前のテロップが唐突に出ていた感じを受けた。また、「ボクシングの八重樫選手」がとりあげられていましたが、岩手県人らしく謙虚な中にも力強さを感じた好青年だった。

委員 「ゾウのマオ花嫁修業中」の話題では、マオの生い立ちや、ゾウの結婚適齢期などにも触れて欲しかった。「シリーズ オープンガーデン」では、自宅の電話番号を公開していたが、対応は困らないのか気がかりでした。「6月6日の稽古始め」は、なぜ6月6日なのか由来を入れて欲しかった。「最高齢の菊池さん死去」の話題では、新たに最高齢になった鈴木さんの名前が、菊池さんの映像にテロップで出たが、勘違いを招くのではないかと思った。

委員 キャスター2人の間隔が、開きすぎのような気がした。「ゾウのマオ」では、年齢差に疑問を持ったと同時にゾウの成獣は、何歳なのか知りたかった。飼育係の方の苦労は大変伝わった。「ボクシングの八重樫選手」は、大変明るい話題だった。まさに鬼の手の活躍を期待している。「地上デジタル放送」のニュースは、最後に持ってきた方が良かったのではないかと感じた。「県内最高齢者交代」の話題では、県内の現在の高齢社会などもう一手示されると良かった。

委員 話題が盛り沢山の反面、突っ込みが欠けていたのではないか。「サドルの散乱」の事件では、容疑名、どういう事件なのか言ってもらったほうが良い。「ゾウのマオ」では、飼育係を取り上げた視点は良かったが、この方がどんな研修を行っているかなど、もう少し内容を掘り下げて欲しかった。「ボクシングの八重樫選手」は、好青年でよかった。ボクシングで生計を立てるのはなかなか難しい中、どういう動機でやっているのか、詳細な紹介があっても良かったのではないか。また、「インフルエンザ学級閉鎖」や「県内最高齢者交代」などの生ニュースは、まとめて前の方にあった方が良かったのではないか？特集などで、分断された印象がある。

委員 「サドル散乱」事件は、わが社が被害を受けた側ですが、非常に正確な報道だと感じた。全体を通して一番好印象だったのは「ボクシングの八重樫選手」で、岩手県の中で、地元の人が活躍しているのもいいですが、岩手県の方が、中央で活躍している、あるいは世界で活躍しているという話題は、岩手の人を元気付ける気がします。「ゾウのマオ」は、飼育係の方を通じて報道するという、工夫が見られた。全体的にニュースをテロップで適切にフォローしていると感じたが、天気予報の中の「二十四節気」についても、テロップを出して欲しかった。

委員 「ゾウのマオ」については、今までの流れもお知らせすることや、人間に例えれば何歳になるかなど、もう少し詳しく説明したほうが良いと思う。飼育員の食事中のインタビューは気の毒に思った。天気予報についてですが、警報・注意報と週間天気予報の地域の並び順を、整合性とした方が良い。

委員 数えると天気予報除いて11項目ありましたが、その中には「詳しく知りたい」と「聞き流してもいい」という項目があると思いますが、「詳しく知りたい」という話題について突っ込みが足りなかったと思う。

「岩手大学の野鳥の研究」の八木先生のお話の中で「人間の命の大切さを学生たちに学んで欲しい」とおっしゃったことにとっても感銘を受けた。とても良い話題だったと思う。天気予報は、夕方のニュースの重要な役割を担っていると改めて感じた。アナウンサーのテンポの良さも心地よかった。また、夜の予報をするのはとても良い。商店等は、閉店後の後片付けが天気によって変わってくる。この情報は、とても重要なことを改めて感じた。インフルエンザの学級閉鎖の話題では、締めに予防方法や対処法などを付け加えると良かった。

委員 全体感じたことは、地域のニュースを小まめに沢山拾い上げているという印象でした。ニュースの即時伝達性と予定された話題を組み合わせたこのような番組は、苦勞していると感じた。事件を取り上げた場面で、地元関係者が笑顔を見せていたのは、不謹慎に感じた。「6歳の稽古はじめ」は、最初は簡潔すぎる印象をうけたが、よく考えると、構成の中で、一服の清涼剤の役割があった。最後に2つ質問ですが、ローカルニュースのテーマは、他局とバッティングしないのか？また時間帯が他局とほぼ同じなのは何故か？教えて欲しい。

委員 全体として1つ1つの話題は、取材は丁寧でいつも感謝している。ボクシングの取材の時に、一時音声下がったのが気になった。天気予報も詳しく見れるので、いい番組だと思う。

最後に、平成5年に小学校の1年生の児童が、加賀野交差点で交通事故に遭った時に、歩道橋、もしくは地下道の設置をして欲しいという陳情を、国土交通省、県警本部、公安委員会など6箇所くらいに行った際に、この番組にすべて取材し

ていただいて、放送してもらいました。時間はかかりましたが、加賀野交差点に立派な地下道が出来ています。この番組で紹介してもらったことが、実ったものだと感じています。

委員 「ゾウのマオ」の話題でとても印象に残ったのは、飼育員の方が、東京での研修中の夕食のところで、生まれたばかりの自分のお子さんの写真を目の前に置いて、レトルトと思われる食事を取る場面で、あの場面が見る側にいろいろと想像させるものなので、大切じゃないかと思いました。

「戦火の中の手紙」で、各局報道する中で、テレビ岩手が写真も多く使い、分かり易く紹介していた。「6月6日の稽古初め」ですが、6歳は、気をつけなければならぬキーポイントの歳なので、そういうことも調べて付け加えると、その話題が輝いたのではないかと？天気予報ですが、この日は『芒種』を取り上げていましたが、説明のときにアナウンサーが小さな紙を読んでいたのが気になった。間違えないようにしているのだと思うが、堂々と大きな紙を見たほうが良いと思うし、または、『芒種』に関する映像を流して、その間に説明すればより良かったのではないかと。

委員 「サドル散乱」の事件は、大変悪質な犯罪だということをはっきりと伝えて欲しい。「ゾウのマオ」では、裏方の仕事に光を当てて、若い飼育員が夢を持って頑張る姿を丹念に追っていて良かった。「戦火の手紙」は、著名な研究者、文化史の中に足跡を残した人を取り上げたつもりだったと思うが、視聴者は感じ取れなかったのではないかと残念に思う。「デジタル試験電波開始」の話題は、動機づけにはいいが、難しくわからない。家庭では、どのようにすれば見ることが出来るのか、専門の話なので、後で説明して欲しい。「天気予報」は、情報が多彩ではあるが、緊張感があるように感じる。

全体を3つに分類すると、「地上デジタル」と「天気予報」はテレビ放送にとって不可欠なもの。デジタル放送については、今後もフォローをしていって欲しい。2つめのまとまりは、青少年に関する話題。3つめのまとまりは、中高年・高齢者に関する話題と感じた。

「就職面接会」ですが、入り口の話が中心で、就職率が上がってきているということだが、果たして経済だけの問題か？仮に景気が回復すれば解決する問題なのか？ニュース・報道で、背景と考え方を時間をかけて、どこかで取り上げて欲しい。新卒で、進学や就職をしない人の率が増えていることが問題になっており、入る前のところに次世代の人との関わり方が問われている状況などを、我々で考えていかなければならない。

委員長 まとめますと

- ・番組全体として、取材力があつたし明るい話題が多く良かったのではないかと。
- ・番組の構成（順番）については、再考いただいてもいいのではないかと？
- ・内容については、同じ時間で取り上げるのではなく、濃淡をつけた方がよいのではないかと？
- ・他局と同じ時間帯で、テーマの違いをどう出していくのか？
- ・「サドル事件」については、正確に伝えていたというご意見もありましたが、事件内容は悪質なので、事件の容疑名などはっきり伝えるべきだったのではないかと？
- ・「ゾウのマオ」は、企画に工夫があつたが、マオの生い立ちなどの説明があれば良かったのではないかと？
- ・「野鳥の巣箱」は、大学の先生の研究と関わりがあるのか気になった。
- ・「オープンガーデン」は、作成されているご主人の職業が気になった。また、電話番号を公開しても良かったのか？
- ・「6歳の稽古はじめ」は、6月6日との関係など説明があればよかつた。
- ・「ボクシングの八重樫選手」一時音量が下がったのが気になった。
- ・「地上デジタル放送」の試験電波発射中という『発射』という言葉が気になった。
- ・「天気予報」では、警報・注意報と週間予報を表示するときに、市町村の並び順を整合性をとったほうが良いのではないかと？

というところでしょうか。社側からお答え下さい。

社 側 番組審議会のテーマは、いつもは特集をご覧頂いておりましたが、今回は、一日の構成をご覧頂きました。

放送時間については、全国ニュースの時間が決まっておりますので、ローカルでは変更できません。

内容のテーマについては、ニュースの場合は、今何が関心事か・・・ということを考えてテーマを決めています。ご覧頂いた週には、2つのシリーズがありまして、「世界へ」と「オープンガーデン」でした。「世界へ」は、この週末にワールドカップサッカー開幕だったので、小笠原選手を特集したいという目的から、世界で活躍する岩手県人取材しようということで、ボクシングの八重樫選手、バスケットで世界選手権に出場する川村選手などを紹介しました。「オープンガーデン」は、緑がきれいな季節に、デジタルカメラで取材すると非常にきれいなこともありまして、紹介いたしました。

「サドル散乱」については、ご指摘受けたとおり、容疑をきっちり入れるべきでした。テレビのニュースは流れてしまい、新聞のように見返すことが出来ないため、短い中でどういったことを伝えるかということが重要です。気を付けて行きたい。

「ゾウのマオ」については、盛岡動物公園の象を長い間取材を続けており、今回の花嫁の話もすでに1回放送しております。そのときに、ある程度マオの紹介

もしておりました。同じ記者が担当したので、視聴者が既に知っているという感覚があり、説明が足りない傾向があると思います。その後多摩動物園から盛岡に輸送する際も、同じ記者が取材し、放送させていただきました。

「就職面接会」は、景気が良くなって、少し就職率が回復してきたので、さらりと扱う傾向が出てきたが、ご指摘の問題が確かにありますので、そういったことはこれからも取り上げて行きたいと思います。

社 側 営業担当から申し上げますと、ローカルニュースは、他局に比べここ 10 年視聴率は独走しています。しかし、ご指摘いただいたような改善点はあると思います。

社 側 「地上デジタル発射中」という表現は、違和感があるとのことで社内で議論したのですが、総務省の指導で決まりました。

委員長 他に何かありますか。では、事務局にお返しします。

事務局 ありがとうございました。以上で番組審議会を終了いたします。